

# PUBLICITY NEWS 109 学院広報 2016.7.5

## 平安女学院がマスコミに報道されました！！

### 学長が、そして学生が、広く社会に向けてメッセージ。

2016年5月28日 京都新聞

京滋の学長 トッピンタビニー



小規模女子大としての特色は、授業は少人数でアットホームな雰囲気の中、丁寧に学生を育てられる。私も学生たちの名前を指している。学生は京都にある旅館巡り、魅力を感じてきて、女性としての視点を生かした活動に取り組んでいる。毎冬には、キャンパスをイルミネーションで飾る企画も行っている。主体的にのびのびと個性を伸ばせる環境を整えている。――京都と連携したキャンパスがある。京都には国際観光学部がある。歴史ある街の中、本学の明治的な文化財としても個ある建物で学ぶため、国際会議など客をよむ手前も学んたり、茶道や華道、着付けの教えを受けている。高橋は、京都府立女子大と連携して、教育と短期大がある。京都とは違い、広々とした山に囲まれた環境。需要が高まっている保育士をはじめ、幼稚園教諭や小学校教諭を多く養成している。――少子化に伴う学生の確保が難しくなっている。

#### 小さくてキラリと光る大学

両学部で定員割れを起しているのは事実。しかし人件費などで工夫し、経営は黒字で心配はない。ただ定員割れは避けたい。たまたま、大学の教風と一致した学生が入ってほしい。平安女学院中学・高校は近年、生徒が増え、今年、高校は初等教育進学コースを設け、子ども教育学部が短期大学部に進学する道場をつけている。今後は大学の学生数も増すだろう。

――特長の履修は、小規模でもキラリと光る大学でありたい。学生がアイデアを提案し、食費や学費が安い。フェリス学院に似たような、大学の魅力を高めて学生を呼び込む。同時に就職率100%の強みを活かす。社会を交える人材を育てたい。 (聞き手・広瀬一隆)

2016年6月14日 京都新聞

平安女学院大写真部展



西陣の帯よもやま話 京

2016年6月2日 毎日新聞

安倍晋三首相が1日、10多への消費増税の2年半延期を発表した。各地で有権者に賛否(①)と理由(②)を問うと、「景気回復を実感できない中で増税すべきではない」「膨らみ続ける社会保障費はどうなるのか」と賛否が入り交じる。【まとも・山崎征夫】

#### 有権者 増税延期に賛否

「先送り私たちの負担に」

選挙権年齢が18歳に引き上げられ、有権者が増える。増税延期に賛否が分かれる。増税延期に賛成する有権者は、増税延期に賛成する理由として、「景気回復を実感できない中で増税すべきではない」「膨らみ続ける社会保障費はどうなるのか」という理由が挙げられた。一方、増税延期に反対する有権者は、「増税延期は景気回復を遅らせる」「増税延期は景気回復を遅らせる」という理由が挙げられた。

#### 「18歳選挙」可能性の滋賀・日野町

滋賀県日野町は、18歳選挙の可能性を模索している。町長は、18歳選挙の実現に向けて、町民の意見を聴き、検討を進めている。町民の意見として、「18歳選挙の実現は、町民の負担が増える」という声も聞かれた。

2016年6月25日 毎日新聞

## 10代の視点鋭く

7月10日投票の参院選、憲法改正、アベノミクスなど候補者が争う争点外にも、府内でも「選挙権年齢が18歳に引き上げられ、有権者が増える。増税延期に賛否が分かれる。増税延期に賛成する有権者は、増税延期に賛成する理由として、『景気回復を実感できない中で増税すべきではない』『膨らみ続ける社会保障費はどうなるのか』という理由が挙げられた。一方、増税延期に反対する有権者は、『増税延期は景気回復を遅らせる』『増税延期は景気回復を遅らせる』という理由が挙げられた。」



竹内千依さん(19)＝平安女学院大2年、下京区

皇に願いを 参院選 京都

子どもも大人もみんな笑顔で過ごせる社会になりますように



平安女学院大写真部展 中京

2016年6月2日 京都新聞

#### 情報ワイド

平安女学院女子大も教育学部・短大部保育科生制作展(全切り絵)開催中(11日10時～) 5時～、京都府中京区寺町通御池下ル平安女学院サテライトスタジオA 27日休み 一部 祐一 7月5日(土)15時～、約17時、土・日曜は前日1時から5時、木曜は後1時から5時、6日休み、辻本光男真展「終わりのない旅」開催中、12日11時～、後4時、京5. 米田

サテライトスタジオで学生の作品展